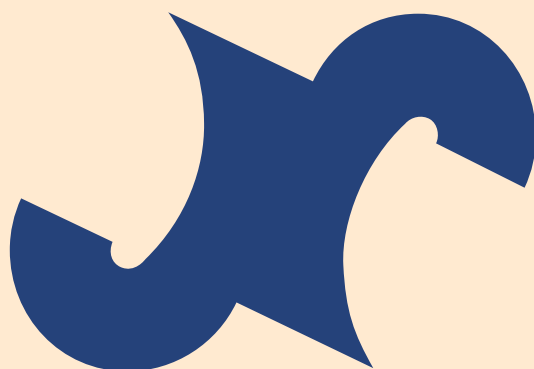


# 提言書



**YEG**

松江商工会議所青年部  
令和3年度提言委員会

# 提言書



松江商工会議所青年部  
令和3年度提言委員会

はじめに .....	3
提言1	
松江市企業の人材不足解消に向けての提言 .....	5
提言2	
子どもたちの「安心・安全」について	
体感治安向上に向けての提言 .....	13

## ごあいさつ

私たち、松江商工会議所青年部（松江YEG）は、松江市で商売を営む45歳以下の青年経済人の集まりです。松江商工会議所の下部組織として、昭和53年の創立以来、ふるさと松江市の経済的発展を支えるとともに地域振興や賑わい創出等に努め、豊かで住みよい郷土づくりに貢献するため、様々な事業を実施してまいりました。

直近ではコロナウイルス感染症拡大の影響で開催できていませんが、水郷祭の松江だんだん特設ステージや屋台村の設営・運営や、水燈路など、地域の賑わいづくりに精力的に携わってきました。



一方で、上部組織である商工会議所の設立根拠となっている商工会議所法において、商工会議所の行う事業を定めている条文の一番頭には、次のように定められています。「商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。」すなわち、経済団体の視点から政策を提言すること、となります。

私たち、松江YEGでも政策提言活動を重要な活動の一つとして位置づけ、平成29年度より取り組みをはじめました。そして令和元年には、松江YEG初の提言となる「まつえの日」制定に関する提言書を松江市長に提出したところです。

政策提言というのは、単に何かをしてください、という要望ではありません。松江にはこのような課題があり、こうしたら解決できる、こうしたらもっと良くなる、ということ、われわれ経済団体と行政、その他関係団体や市民グループ等が共有し、同じ方向に向かって最初の一步を踏み出すための指針になるものだと考えます。単独の団体・組織の活動では実現が難しいことも、多くの関係者で共通認識を醸成し、協働して実現に向かうことができる可能性を持っているものだと考えます。

私たち松江YEGは今後もふるさと松江の豊かで住みよい郷土づくりに資する提言を続けていきます。そして提言内容の実現に向けて先導者として活動をしていきますので、青年部活動に引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

松江商工会議所青年部  
令和3年度 会長 大内 智弘

## 提言 1

---

# 松江市企業の人材不足解消に 向けての提言



私たちが働き、暮らすこの松江市で、多くの企業が抱える人材不足の問題は年々深刻化しています。少子高齢化をはじめとした社会全体の問題や、労働環境改善が進んでいない企業側の問題、求職者側の価値観の変化などさまざまな要因によって引き起こされていると考えられます。

松江市の地域発展のため、経済的、文化的に豊かで住みよい郷土づくりに貢献するため活動している松江商工会議所青年部では大学生の生の声を知り、学生と企業がどのようにつながることが出来るのかを考えるべく「松江商工会議所青年部 × 島大生 未来プロジェクト」として未来を担う世代である島根大学1年生3名と共に人材不足を解消できないかと考えました。

そしてこの問題に対し、松江市企業、島根大学、島根県立大学、島根県立大学短期大学部にご協力をいただきアンケート調査を行い、松江市企業と学生の声を知るとともに、先進企業の取組みも学び、松江市企業の人材不足解消について提言することとしました。



松江商工会議所青年部 × 島大生 未来プロジェクトとは、島根大学地域人材育成コースのプログラムの一環として、大学1年生が4か月間にわたり松江商工会議所青年部と共に活動し、松江市をより良くするために提言を行うプロジェクトです。

令和3年度 松江商工会議所青年部

会 長 大内智弘

直前会長 長岡 望

令和3年度 松江商工会議所青年部 提言委員会

担当副会長	堰 大輔	委 員	伊東昌幸	常松牧人
委 員 長	糸賀悠平		今田大介	成瀬義広
副 委 員 長	井原通美		内田晋史	富金原健治
副 委 員 長	内部健司		佐藤良治	福田大貴
副 委 員 長	山野春香		菅井祥史	村上裕司
			曾田省吾	米村嘉晃
			竹内雅哉	

島根大学1年生 地域人材育成コース

塚本 光 花野 壱成 山根 心

■ 集計方法：Google フォーム ■ 集計期間：2021.10.26～11.15 ■ 対象：松江 YEG 会員企業・取引先企業 ■ 回答数：67  
 ■ 集計方法：Google フォーム ■ 集計期間：2021.11.19～12.3 ■ 対象：島根大学・島根県立大学・島根県立大学短期大学部 ■ 回答数：252

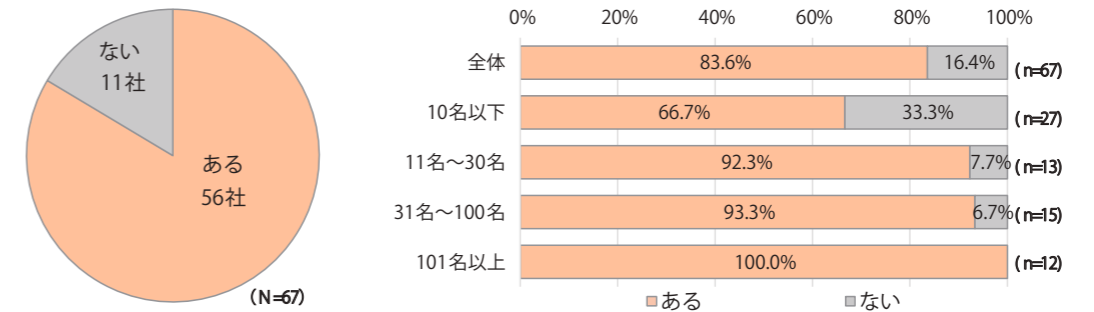
## 松江市企業の人材不足の現状

松江市の企業に対して人材不足の問題があるのかアンケート調査したところ、約8割の企業が人材不足の問題を抱えていることがわかりました。主な理由としては「求人しても応募が無い」「退職による不足」「離職率が高い」「自社の魅力が伝わっていない」などのご意見がありました。

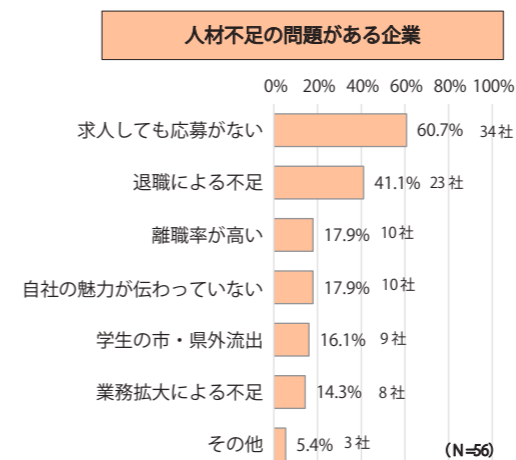
また、人材不足の問題がないと答えた企業に対して考えられる充足理由を聞いたところ「労働環境」「離職率が低い」「企業の魅力」などのご意見がありました。

### 松江市企業の回答

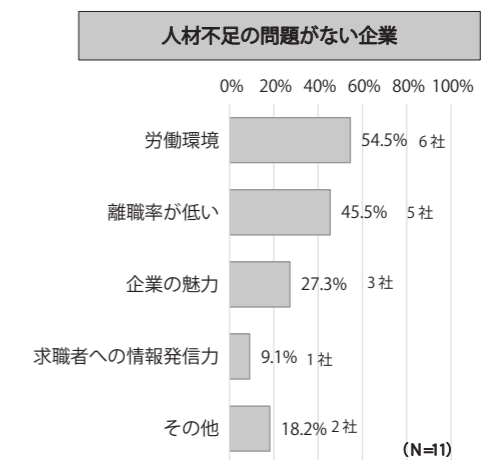
#### Q. 人材不足の問題がありますか？



#### Q. 人材が不足している理由は？



#### Q. 人材が充足している理由は？



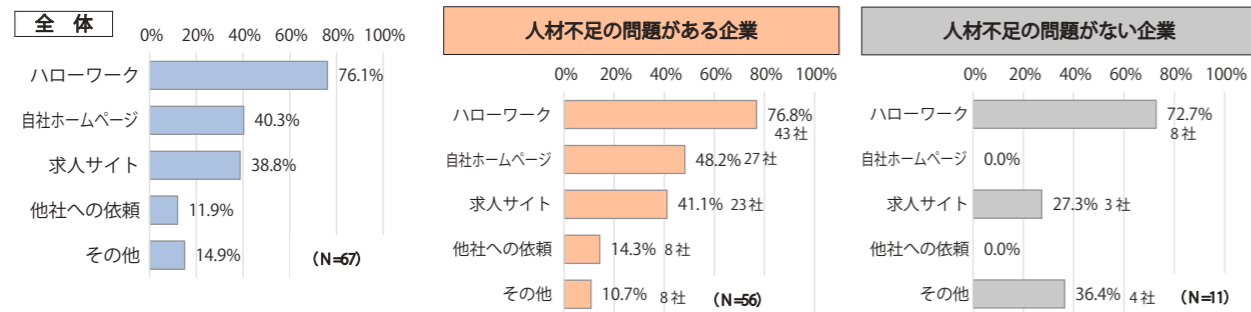
## 企業の求人と取組み

松江市の企業の多くは「ハローワーク」「自社ホームページ」「求人サイト」を使って情報発信し、主に求人を行っています。また、学生に対しては「企業説明会」「職場体験」「インターンシップ」「イベント」などで学生が直接仕事に触れたり、話を聞ける機会を設けています。

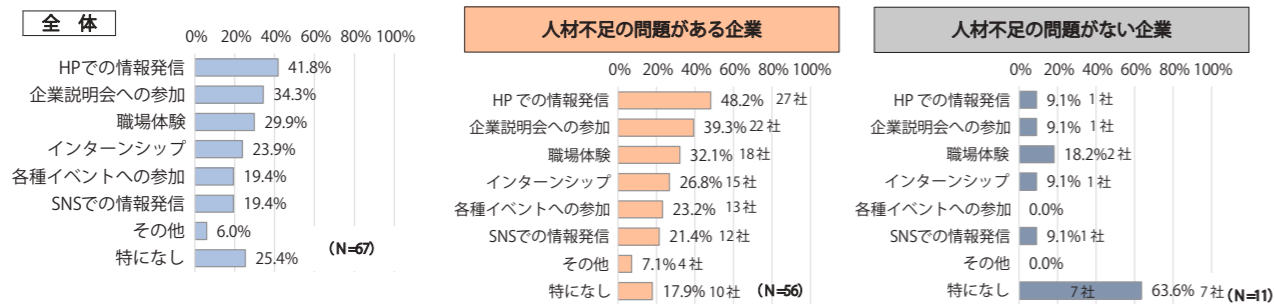
しかし、ほとんどの企業が求職者に対し、**企業の情報が伝わっていない**と感じています。

### 松江市企業の回答

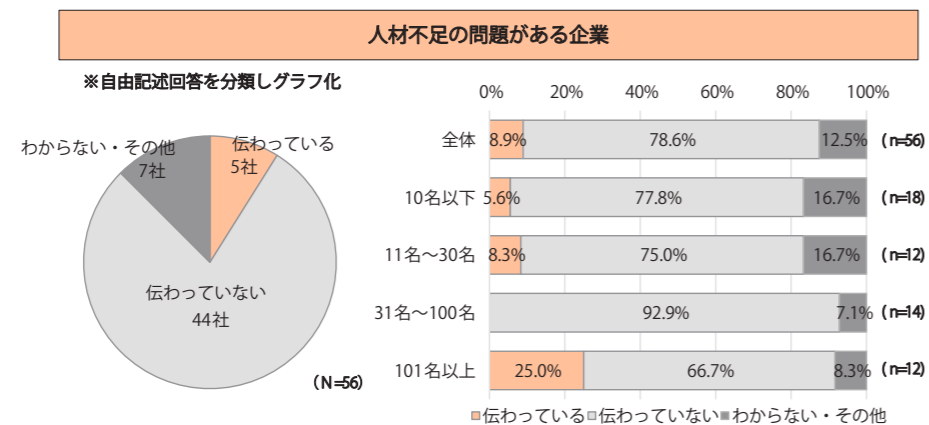
#### Q. どのように求人していますか？



#### Q. 人材を募集する際、取り組んでいることは何ですか？



#### Q. 企業の情報が求職者に伝わっていると思いますか？



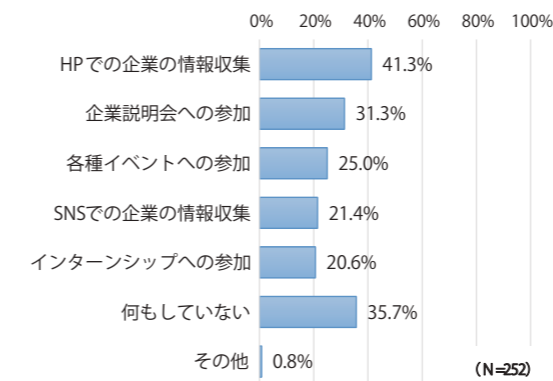
## 大学生の求職

大学生の就職先の情報収集の方法として、「ホームページ」だけではなく「企業説明会」「イベント」「インターンシップ」などもあり、企業と直接話せる機会に参加しています。また、「企業説明会」「イベント」は参加して良かったとの意見も多く、直接話せる機会は重要であると考えられます。

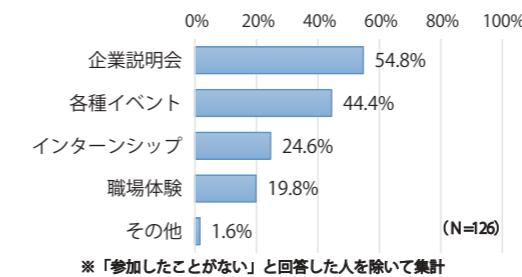
ただ、大学4年生は情報は十分収集出来たという回答が多い一方で、**1,2年生では就職先の情報は十分収集出来ていない**という意見が多くありました。

### 大学生の回答

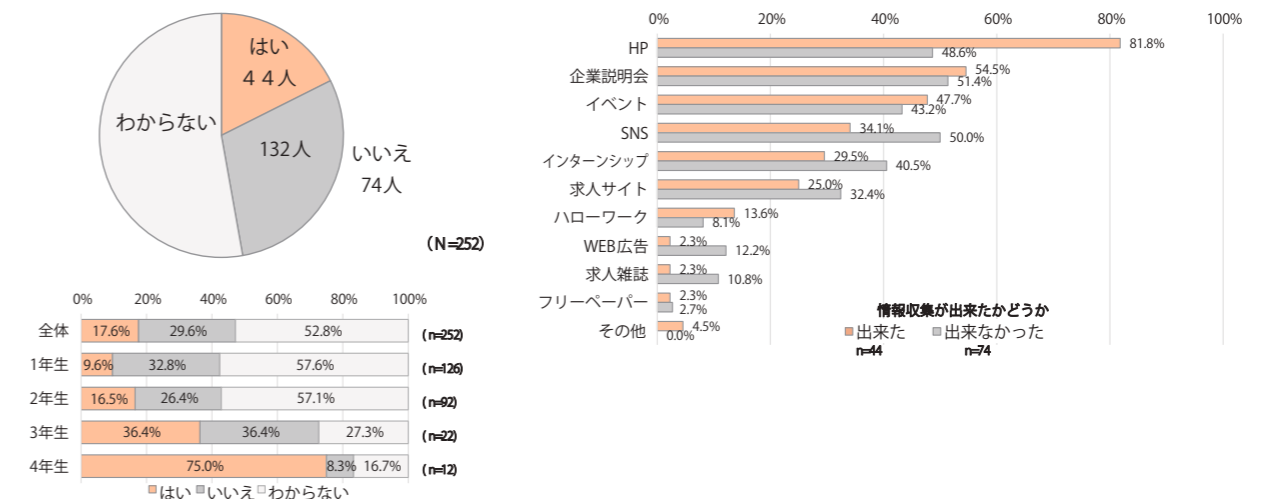
#### Q. どのように就職先の情報を集めていますか？



#### Q. 就職先を探す際、参加して良かったことは何ですか？



#### Q. 就職先を探す際、情報は十分収集できましたか？





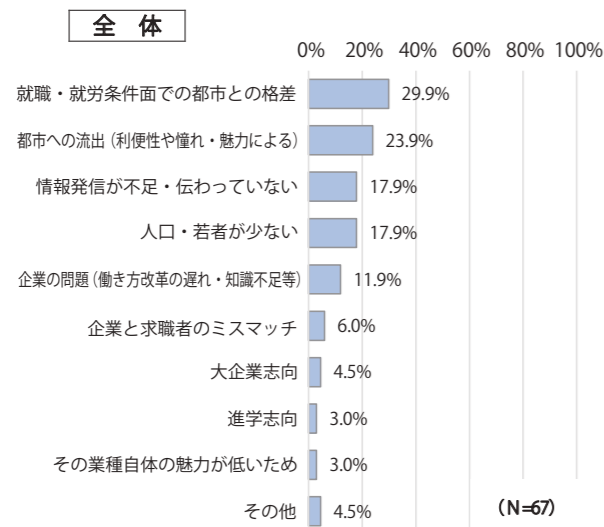
## 人材不足解消に向けて

松江市の企業が人材不足の原因と考えていることとして「就職・就労条件面での都市との格差」「利便性や魅力による都市への流出」「情報発信不足・伝達不足」などをあげ、労働環境の整備など企業の魅力向上、発信が必要と考えています。

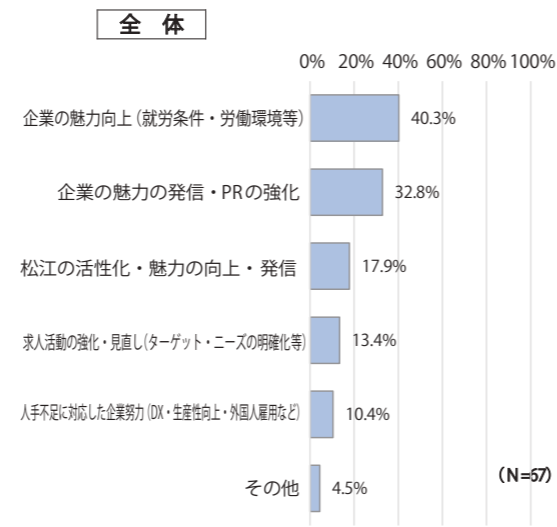
また一方で、大学生としても就職先に「働きやすい環境」を求めており、松江市の若者が地元に残って働いてもらう、一度県外に出て戻ってきて働いてもらうためには、**労働環境を見直し働きやすい企業になることが大切**だと考えます。

### 松江市企業の回答

#### Q. 松江市で多くの企業が人材不足を感じています。何が原因だと思いますか？

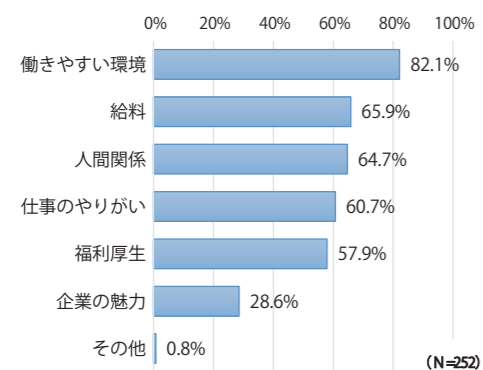


#### Q. 人材不足を抱えている企業は何をすべきだと思いますか？



### 大学生の回答

#### Q. 就職先に求めることは何ですか？



## 人材不足解消に向けての提言

現在松江市では地元企業への就職を促すため学生に対し、大規模な企業説明会や学生と企業が直接会って対話できるイベントを開催するなど様々な取り組みが行われています。一方で、松江市企業の多くが人材不足の問題を抱え、学生は企業とのつながりが少ないと感じる声がありました。

「松江商工会議所青年部 × 島大生 みらいプロジェクト」では松江市の企業と大学生におこなったアンケートの回答、先進企業の取り組みをもとに松江市企業の人材不足解消に向けた取り組みとして、「企業の労働環境を整備すること」「企業と学生がお互いを知ること」が重要であると考え、この2つを達成するために、松江市、企業、学生が一体となり「**働きやすい企業が集まる街づくりを目指す**」ことを提言いたします。

松江市の多くの企業が労働環境の整備が遅れているため、働きやすい環境を求めて学生の都市部への人材流出は増えるばかりです。個々の企業努力はもちろんですが、松江市の企業が先進企業から取組みを学び、企業間で連携し共に成長する仕組みをつくれば、松江市が働きやすい企業、魅力ある企業であふれ、学生の受け皿を増やすことに繋がります。

また、企業は学生に対し企業の魅力が伝わっていないと感じ、学生は求める企業の情報が得られていないと感じています。企業が就職間近の学生に対し年に幾度かある大規模な企業説明会で、一方的な情報を提供するだけではお互いの事を知ることは出来ません。就職活動を迎える前の学生の頃から気軽に企業と接する機会を定期的に、長期間設けることで、お互いをより深く知ることができ、就職や就職後の離職率低下に繋がるのではないかと考えます。

現在地元企業への就職を促す学生への取り組みの多くはふるさと島根定住財団などを通じて県が行っており、松江市にフォーカスした取り組みを増やしていく必要があります。松江市企業の人材不足を自分たちの力で解決していくため、松江市、企業、学生が一体となり取り組むことが不可欠です。

最後に松江市が今後持続的に発展、成長していくためには、地域を支える企業が増えること、地域社会の未来を担う若い世代が定着することが必要です。松江市に魅力ある企業が増え、若者たちがやりがいを感じながら働けるまち、いつまでも住み続けたいまちとなれば、松江市の人口増加、松江市企業の人材不足解消になります。

## 取組み事例案

### 先進企業から取組みを学ぶ機会の創出

松江市の企業が先進企業の実践を知り学ぶことで、労働環境改善など働きやすい企業をつくる。

### 複数企業間の意見交換会

経営者同士、または従業員同士での意見交換をすることで、松江市企業一体となった発展につながる。

### 個人事業主も受けられる認定制度

個人事業主に対しても認定制度を積極的活用できるようにし、求職者の受け皿になりやすくする。

### 就活前の学生に向けた企業説明会

就活中の学生ではなく、就活前から松江市の企業に気軽に触れる機会を長期間つくることで、企業、学生がお互いをより深く知ることができる。(放課後オンライン開催など)

### 企業と学生のディスカッション

企業と学生が聞きたいテーマをもとに意見交換することで、お互いを身近に感じ、考え方や価値観を共有することができる。

### 学生と企業の共同プロジェクト

学生が企業と共同で企画、商品開発などに取り組み、販売や発表することで仕事のやりがいや企業を身近に感じることができる。

### 松江の文化・企業を知るバスツアー

松江のことを良く知らない大学生を対象に、文化に触れながら、企業を回るツアー。松江の魅力を知ること、この土地で働きたいと思う学生が増える。

### 企業の求人勉強会

学生に企業を知ってもらうのではなく、企業が学生の考えを知る場をつくる。

## 提言 2

# 子どもたちの「安心・安全」について 体感治安向上に向けての提言





## 提言書作成に至る経緯

松江市は全国的に見て交通事故や犯罪件数も少なく<sup>※1</sup>、中海・宍道湖・大山圏域の5市（松江市、出雲市、安来市、米子市、境港市）は医療体制においても人口に対する医師数も全国平均を大きく上回り<sup>※2</sup>、地域の暮らしやすさ指標の貨幣価値においては全国1位<sup>※3</sup>という大変住みやすい地域と言えます。

一方、当会内で「『安心・安全』と聞いて思い浮かぶことはどのようなことか」という主旨でアンケートを行った結果、「犯罪発生率が低い（65.9%）」「児童への防犯対策が徹底されている（50%）」といった意識を抱えているものの、実際にはまだ松江市内で子育てを行うにおいて危険と感じる部分が多いことも自由記述から多く読み解くことが出来ました。

その結果から、私たち松江商工会議所青年部提言委員会では、所属メンバーと近い世代層である市内の子育て世代も同様の不安を抱えているのではないかと仮定し、統計的に安全で住みやすいはずの松江市で子育てをするにおいて、どのようなことに不安を感じているのかを松江市教育委員会の協力をいただき、グループフォームにて松江市内の全ての小学校のPTAにアンケート調査をさせていただきました。

※1：島根県警察本部へのヒアリング(2021年4月実施)

※2：全国平均は平成26年12月末現在。厚生労働省調査より、圏域5市平均は平成22年国調ベース資料より試算

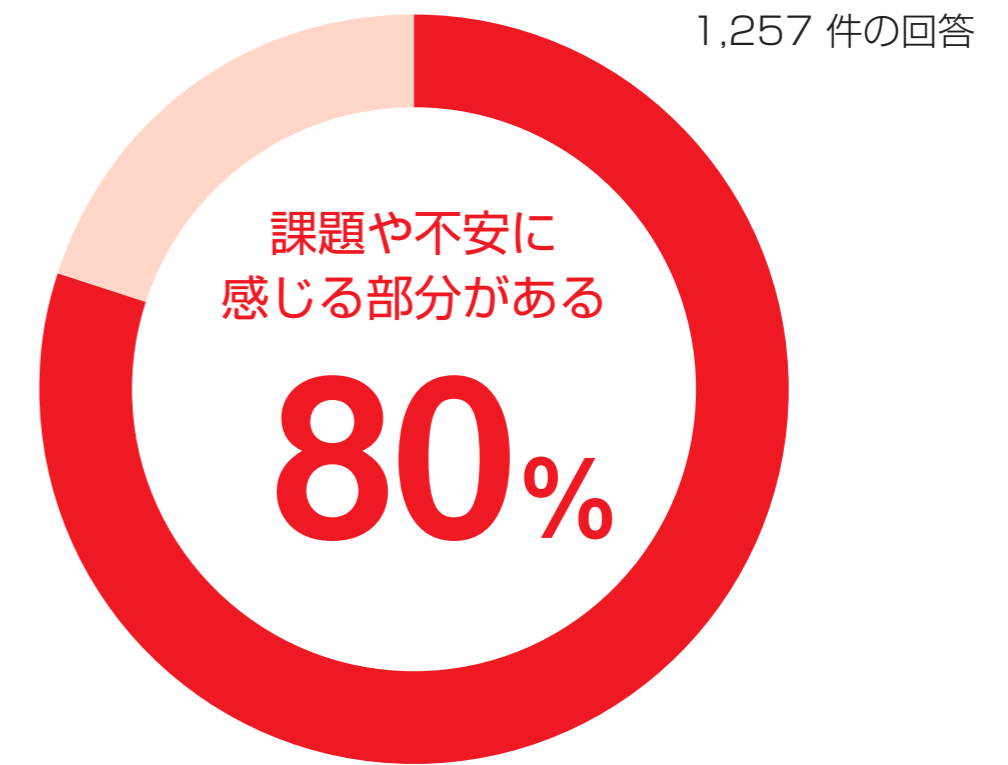
※3：平成27年3月 経済産業省 地域の生活コスト「見える化システム」 「30代：郊外・農村志向：夫婦と子供（小中高生）の世帯」の指標

## 松江市小学校PTAへのアンケート調査

まず、「子どもたちへの防犯」について、日常的に不安や改善すべきと感じているかをお聞きし、そう感じておられる方に「交通」「防犯」についてそれぞれ課題をお聞きしました。

### PTAの回答

Q.「子どもたちへの防犯」に関して普段から、課題や不安、改善点と感じておられることがありますか？



1,200件を超える回答の内、80%の保護者の方が「課題や不安、改善点あり」と感じておられることがわかりました。

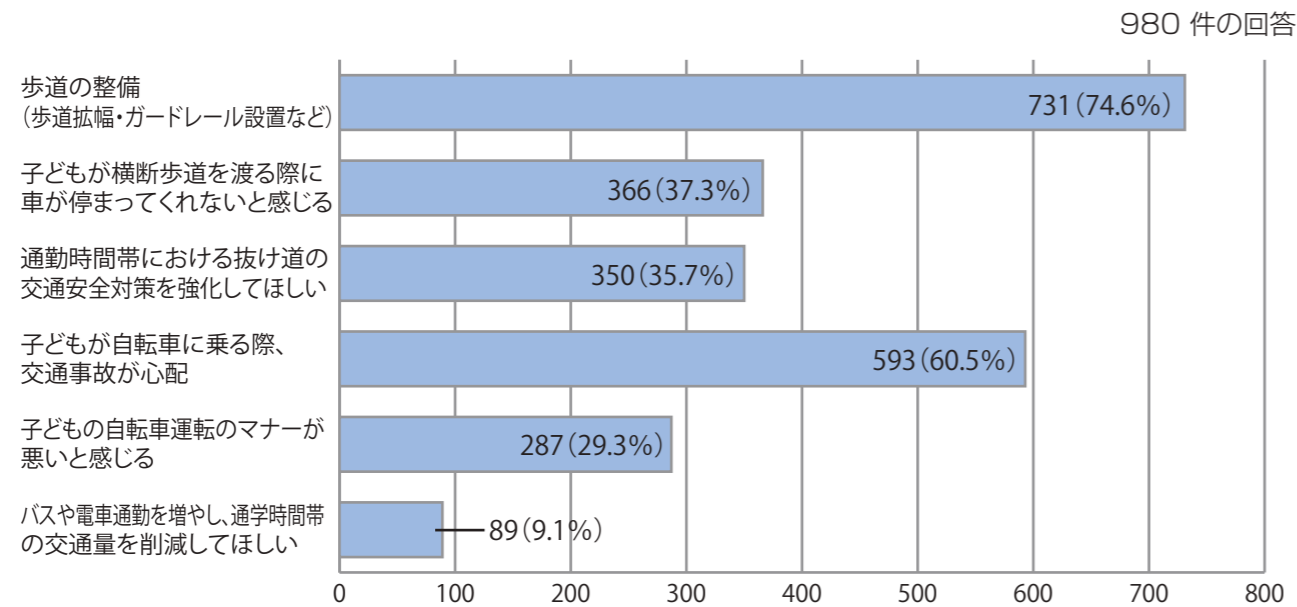
実際のところ通学時の交通事故や事件などは少なく、統計的には安全である松江市ですが、保護者の「体感治安」が高くないことがわかります。

## 交通に関する課題

980 件の回答の内、最も多い回答が「歩道整備」で 74%、2 番目が「子どもの自転車運転時の不安」で 60%、次いで「横断歩道をわたる際に車が停車しないと感じる」「通勤時間帯における抜け道の交通安全対策の強化」が 35%以上となっています。危険だと感じる箇所については自由記述で 200 件を超える意見がありました。

### 交通対策について

#### Q. 交通対策について、どのようなことに不安を感じておられますか？



#### 【自由記述の一例】

- 自動車の交通量に対し歩道が狭いしガードレールもないので整備をしてほしい。
- 子供たちの通学路になっているところを可能な限り、ガードレールや横断歩道をつけてほしい。
- 通学路なのに歩道がない箇所があり、車の通りもかなり多いしバスも通る。歩道の整備をしてほしい。
- 横断歩道で人が渡ろうとして立っているのに止まらない車を多く見かけます。
- 横断歩道で立っていても止まってくれない車が多いと感じる。交通量の多い通学路には押しボタン信号を設置してほしい。
- 信号のない横断歩道で、歩行者がいれば車は止まるべき。また、歩行者は暗くなれば反射材を身につけるべき。
- 通学、生活道路で車の速度が上がらないような対策をしてほしい。
- 交通量が多く道が狭い登校路は時間帯で進入禁止にしてほしい。
- 自転車と歩行者のすみ分け・歩道内のレーン分けが進むことを願います。
- 自転車運転ルールについて周知が必要。子供より大人の乗り方が悪いと思う。
- 車の運転マナーが悪い。スマホを見ながら運転している方をみかけるので、取り締まってほしいです。
- 勤務先へ急いでいるのは分かりますが、余裕を持って出発し、速度を落とし、譲り合いの気持ちを持って運転して頂きたいと思います。
- 公共交通機関利用やテレワーク推進企業には支援などあればいい。

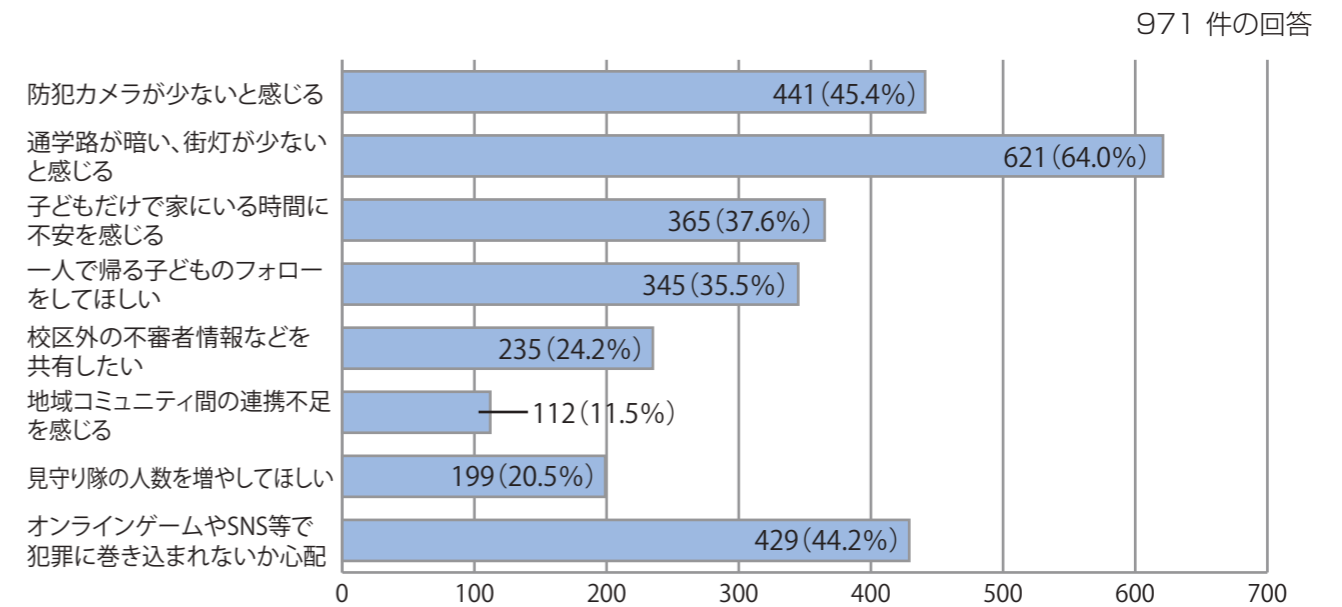
## 防犯に関する課題

971 件の回答の内、最も多い回答が「通学路が暗い、街灯が少ないと感じる」で 64%、次いで「防犯カメラが少ないと感じる」で 45%、「オンラインゲームや SNS 等で犯罪に巻き込まれないか心配」44%、「子どもだけで家にいる時間に不安を感じる」「一人で帰る子どものフォローをしてほしい」が 35%以上となっています。

防犯についても自由記述で 150 件の意見がありました。

### 防犯対策について

#### Q. 防犯対策について、どのようなことに不安を感じておられますか？



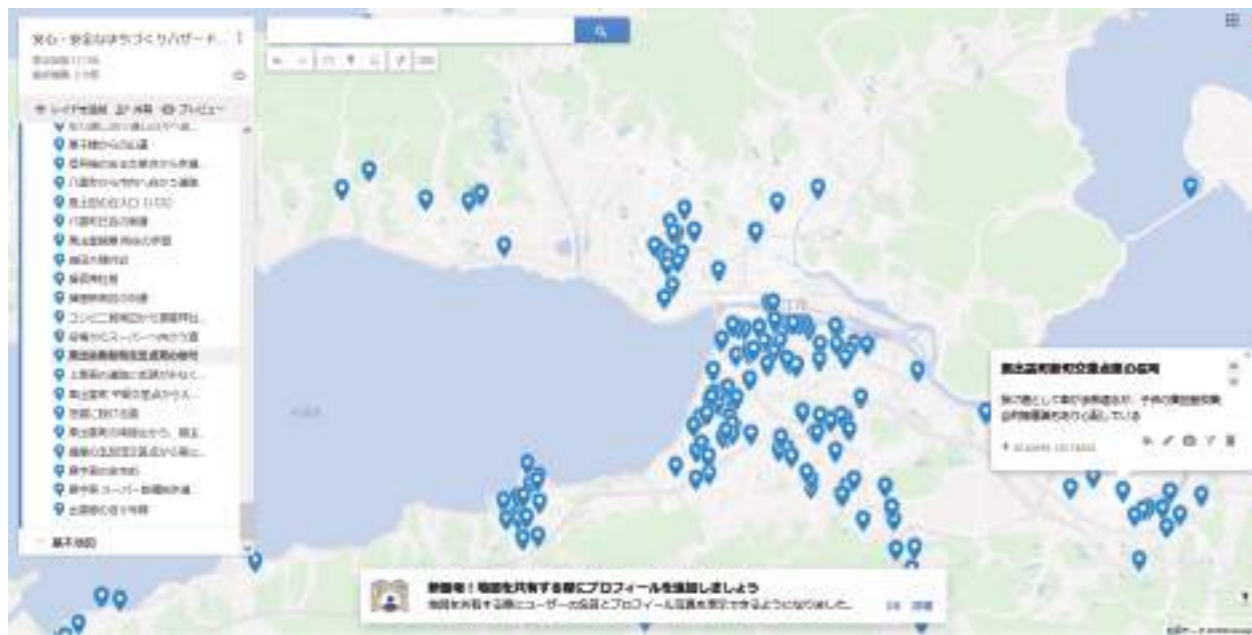
#### 【自由記述の一例】

- 防犯カメラがどこに設置してあるのかわからない（設置箇所の共有もしくは配布）
- 大きい道路から路地に入ってしまうと日中でも人の目が少ないと感じます。通学路中に空き家なども多く、不審者に連れ込まれたらわからなくなるのではと思っています。
- 共働き世帯が多く、住宅街に日中、親世代がいない。地域全体で子どもを見守る、という昔ながらの取り組みには限界を感じる。小学校高学年や中学生の、特に夏休み春休みの居場所づくりを充実すべき。
- 低学年の下校時刻を他の学年と合わせて、兄弟や近所の子供たちと一緒に帰れるように、工夫してほしい。最近、学童が増えて、4年以下で家に帰る子供が減ってます。
- 市内の事故や犯罪の現状や対策について知りたいです。みこぴーメールで情報は得るようになっていますが、マッピングしたものや、大小合わせた交通事故の発生状況を具体的な地点と共に知りたいです。
- 登下校中や遊びに出掛けた時に、何かトラブルに巻き込まれそうになった時、「近くの民家に避難させてもらう」などと話していますが、実際には普段から地域の方とそのようなコミュニケーションが取れていないと子ども自身も難しいのではないかと感じています。交流する機会があったり防犯対策について話し合いの場があるなど、必要ではないかと考えます。
- 帰宅時の見守りボランティアさんがいてくださると、ありがたいと思う。
- オンラインゲーム等の危険は、小、中、高で、定期的に指導頂きたい。ゲーム依存についても早期教育、行政での規制を希望してます。

## 交通・防犯ハザードマップの提供

松江商工会議所青年部では市内小学校PTAへのアンケートの回答から、交通・防犯におけるハザードマップを作成いたしました。

子どもたちが安全に、そして子育て世代が安心して暮らせるよう、危険個所の是正および体感治安を向上するために、この「交通・防犯ハザードマップ」を提供いたします。



©Google

このマップは子育て世代の松江市民の声を「見える化」したものです。ピンが立っている箇所が小学生の保護者が危険・改善してほしいと感じている箇所となっています。

## ハザードマップを提供する意義

### 危険個所の「見える化」

危険個所を「見える化」することで、事故や犯罪の予防・対策がしやすくなる。

例：抜け道の運転速度抑制のためのハンプの設置など  
是正された危険個所のピンが減っていくことで、視覚的に問題が解決していることがわかり、それにより体感治安の向上へと繋がっていく。

### 危険個所の共有および認識

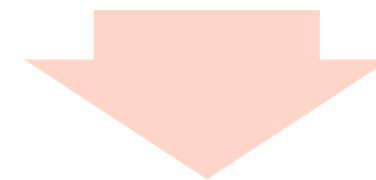
マップを公開することで市民が危険個所の共有および認識ができ、より注意した対策や行動を取ることができる。

自分の住まいのエリアだけではなく、付近を通る際の危険個所を知ることができ、事故等の防止へと繋がる。

体感治安の向上にはリスクの排除だけではなく市民の意思向上が不可欠である。是正が難しい危険個所についても、「そこに危険と思われる箇所がある」ことを認識することにより、注意した行動をとることができ、各コミュニティ内で対策が可能となる。

### 体感治安向上による生産年齢人口の増加

子どもたちの暮らしが安心・安全であることは体感治安の向上に大きく影響し、ひいては人口増加へと結びついてゆく。PTAの体感治安が低いという分析結果から、これを是正および是正に向けた活動をすることにより、将来的に松江市の人口減少・流出の歯止めや生産年齢人口の増加に繋がっていく。



**【ハザードマップのピンゼロを目指して】**

## 子どもたちの「安心・安全」についてのまとめ

冒頭にも申し上げた通り、松江市は交通事故や犯罪が少ないまちです。それなのに体感治安が低いのはもったいない！というのが私たちの気持ちです。子どもたちが安心・安全に暮らせるまちとなるためには、その親の体感治安の向上が必要です。それが子育て世代の定着、そして次世代へと繋がっていき、人口減少・流出の歯止めとなり、そして生産年齢人口の増加へと繋がります。

『松江市子ども・子育て支援事業計画』の基本理念にある「みんなで子どもを育む“子育て環境日本一・松江”」となるよう松江市と松江市民が官民一体となり子どもたちを守り、「安心・安全なまち」を作っていけたら、と思っております。

最後になりましたが、アンケートにご協力いただきましたPTAの皆様へ感謝を申し上げますとともに、このハザードマップが松江市の「安心・安全なまちづくり」の一助となれば幸いです。

